

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【公表番号】特表2008-510228(P2008-510228A)

【公表日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-013

【出願番号】特願2007-525718(P2007-525718)

【国際特許分類】

G 06 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/30 170H

G 06 F 17/30 340Z

G 06 F 17/30 230A

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月8日(2008.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

多段クエリ処理システムにおいてクエリを処理する方法であって、

1つ以上のクエリ用語に応答してインデックスから第1のセットのドキュメント識別子を検索するステップと、

前記第1のセットのドキュメント識別子の少なくとも1サブセットに対応する1セットの圧縮ドキュメントのために第1のセットの関連性スコアを生成するステップと、

第1のセットのトークンを回復するために、前記1セットの圧縮ドキュメントの少なくとも一部分を復元するステップであって、前記第1のセットの回復されたトークンが、前記第1のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメントの位置に関連付けられる、ステップと、

前記第1のセットの回復された1セットのトークンから、追加のクエリ用語を自動的に生成するステップと、

前記追加のクエリ用語を使用して、新しいクエリを作成するステップと、

前記インデックスから第2のセットのドキュメント識別子を検索するために、かつ、前記追加のクエリ用語に少なくとも一部基づく第2のセットの関連性スコアを生成するために、前記新しいクエリを処理するステップとを含む方法。

【請求項2】

第2のセットのトークンを回復するために、前記1セットの圧縮ドキュメントの少なくとも一部分を復元するステップであって、前記第2のセットの回復されたトークンが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメントの位置に関連付けられる、ステップと、

前記第2のセットの回復されたトークンを使用して、前記1セットの圧縮ドキュメントの1つ以上の部分を再構築するステップとをさらに含む請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第2のセットの関連性スコアに少なくとも一部基づいて前記1セットの圧縮ドキュメントから選択されたドキュメントの順序付きリストと共に、前記再構築された部分をユーザに提示するステップをさらに含む請求項1に記載の方法。

【請求項 4】

前記第2のセットの関連性スコアが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内の前記クエリ用語の1つ以上の位置に基づく請求項1に記載の方法。

【請求項 5】

前記第2のセットの関連性スコアが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内のクエリ用語の間の距離に基づく請求項1に記載の方法。

【請求項 6】

前記第2のセットの関連性スコアが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内でクエリ用語が使用されるコンテキストに基づく請求項1に記載の方法。

【請求項 7】

クエリを処理するコンピュータ実施方法であって、
受信されたクエリの1つ以上のクエリ用語に応答して、第1のセットの情報を検索するステップと、

前記第1のセットの情報に基づいて、少なくとも1つの追加のクエリ用語を自動的に生成するステップと、

前記少なくとも1つの追加のクエリ用語を使用して、複数のクエリ用語を有する新しいクエリを作成するステップと、

インデックスから1セットのドキュメント識別子を検索するために、前記新しいクエリを処理するステップと、

前記1セットのドキュメント識別子の少なくとも1サブセットに対応する1セットの圧縮ドキュメントのために1セットの関連性スコアを生成するステップと、

1セットのトークンを回復するために、前記1セットの圧縮ドキュメントの少なくとも一部分を復元するステップであって、前記1セットの回復されたトークンが、前記1セットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内の前記複数のクエリ用語の1つ以上のクエリ用語の位置に関連付けられる、ステップと、

前記1セットのドキュメント識別子の少なくとも一部分に基づいて、ドキュメントのリストを生成するステップであって、前記リストが、前記1セットの回復されたトークンの少なくとも一部分に対応する情報を含む、ステップとを含む方法。

【請求項 8】

前記1セットの関連性スコアが、前記1セットのドキュメント識別子の少なくとも1サブセットに対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内の前記クエリ用語の1つ以上の位置に基づく請求項7に記載の方法。

【請求項 9】

前記1セットの関連性スコアが、前記1セットのドキュメント識別子の少なくとも1サブセットに対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内のクエリ用語の間の距離に基づく請求項7に記載の方法。

【請求項 10】

前記1セットの関連性スコアが、前記1セットのドキュメント識別子の少なくとも1サブセットに対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内でクエリ用語が使用されるコンテキストに基づく請求項7に記載の方法。

【請求項 11】

1つ以上のクエリ用語に応答してインデックスから第1のセットのドキュメント識別子を検索する手段と、

前記第1のセットのドキュメント識別子の少なくとも1サブセットに対応する1セットの圧縮ドキュメントのために第1のセットの関連性スコアを生成する手段と、

第1のセットのトークンを回復するために、前記1セットの圧縮ドキュメントの少なくとも一部分を復元する手段であって、前記第1のセットの回復されたトークンが、前記第

1のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内の位置に関連付けられる、手段と、

前記第1のセットの回復された1セットのトークンから、追加のクエリ用語を自動的に生成する手段と、

前記追加のクエリ用語を使用して、新しいクエリを作成する手段と、

前記インデックスから第2のセットのドキュメント識別子を検索するために、かつ、前記追加のクエリ用語に少なくとも一部基づいて第2のセットの関連性スコアを生成するために、前記新しいクエリを処理する手段とを備えた多段クエリ処理システム。

【請求項12】

第2のセットのトークンを回復するために、前記1セットの圧縮ドキュメントの少なくとも一部分を復元する手段であって、前記第2のセットの回復されたトークンが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内の位置に関連付けられる、手段と、

前記第2のセットの回復されたトークンを使用して、前記1セットの圧縮ドキュメントの1つ以上の部分を再構築する手段とをさらに含む請求項11に記載のシステム。

【請求項13】

前記第2のセットの関連性スコアに少なくとも一部基づいて前記1セットの圧縮ドキュメントから選択されたドキュメントの順序付きリストと共に、前記再構築された部分をユーザに提示する手段をさらに含む請求項11に記載のシステム。

【請求項14】

前記第2のセットの関連性スコアが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内の前記クエリ用語の1つ以上の位置に基づく請求項11に記載のシステム。

【請求項15】

前記第2のセットの関連性スコアが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内のクエリ用語の間の距離に基づく請求項11に記載のシステム。

【請求項16】

前記第2のセットの関連性スコアが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内でクエリ用語が使用されるコンテキストに基づく請求項11に記載のシステム。

【請求項17】

1つ以上のプロセッサによって実行される1つ以上の格納されたプログラムを有する、コンピュータ読取可能記憶媒体であって、前記1つ以上のプログラムが、

1つ以上のクエリ用語に応答してインデックスから第1のセットのドキュメント識別子を検索するためのコンピュータ実行可能命令と、

前記第1のセットのドキュメント識別子の少なくとも1サブセットに対応する1セットの圧縮ドキュメントのために第1のセットの関連性スコアを生成するためのコンピュータ実行可能命令と、

第1のセットのトークンを回復するために、前記1セットの圧縮ドキュメントの少なくとも一部分を復元するためのコンピュータ実行可能命令であって、前記第1のセットの回復されたトークンが、前記第1のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメントの位置に関連付けられる、命令と、

前記第1のセットの回復された1セットのトークンから、追加のクエリ用語を自動的に生成するためのコンピュータ実行可能命令と、

前記追加のクエリ用語を使用して、新しいクエリを作成するためのコンピュータ実行可能命令と、

前記インデックスから第2のセットのドキュメント識別子を検索するために、かつ、前記追加のクエリ用語に少なくとも一部基づいて第2のセットの関連性スコアを生成するために、前記新しいクエリを処理するためのコンピュータ実行可能命令と、

を含む、コンピュータ読取可能記憶媒体。

【請求項 18】

第2のセットのトークンを回復するために、前記1セットの圧縮ドキュメントの少なくとも一部を復元するためのコンピュータ実行可能命令であって、前記第2のセットの回復されたトークンが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメントの位置に関連付けられる、命令と、

前記第2のセットの回復されたトークンを使用して、前記1セットの圧縮ドキュメントの1つ以上の部分を再構築するためのコンピュータ実行可能命令とをさらに含む請求項17に記載のコンピュータ読取可能記憶媒体。

【請求項 19】

前記第2のセットの関連性スコアに少なくとも一部に基づいて前記1セットの圧縮ドキュメントから選択されたドキュメントの順序付きリストと共に、前記再構築された部分をユーザに提示するためのコンピュータ実行可能命令をさらに含む請求項17に記載のコンピュータ読取可能記憶媒体。

【請求項 20】

前記第2のセットの関連性スコアが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内の前記クエリ用語の1つ以上の位置に基づく請求項17に記載のコンピュータ読取可能記憶媒体。

【請求項 21】

前記第2のセットの関連性スコアが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内のクエリ用語の間の距離に基づく請求項17に記載のコンピュータ読取可能記憶媒体。

【請求項 22】

前記第2のセットの関連性スコアが、前記第2のセットのドキュメント識別子に対応する前記1セットの圧縮ドキュメント内でクエリ用語が使用されるコンテキストに基づく請求項17に記載のコンピュータ読取可能記憶媒体。